

村木豊氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

1 期目 4 年の議員活動において、経験不足から当局と思うようにコミュニケーションを取れなかったと反省する一方で、ご相談やご要望をいただいた地域の方からは課題解決につながったと喜びの声をいただき、大変やりがいを感じた。また進み始めたまちづくり、こどもの居場所づくり、沼津版スマートシティなど、議員になる前の経験を活かしてこれらに携わらせていただくことに意欲を持ち、2 期目への挑戦をさせていただく。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

全国的な課題でもあるが、少子化対策が最大の課題。少子化による学校統廃合では地域に大きな影響を与える。子ども会も次々に縮退しており、まちから子どもの声が聞こえなくなるところも現れている。さらには子育て世代の減少をも意味しており、このままでまちの活力の維持向上は難しい。国策としても取り組んでいるが、自治体でできる少子化対策、子育て支援があり、国・県と連携しながら解決すべき課題と考える。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

鉄道高架事業単独で捉えるのではなく、沼津駅周辺総合整備事業とパッケージで沼津の再開発が始まると考える。既に民間投資の動きが見えて再生が始まりつつあるが、ヒトを中心としたコンセプトのまちづくり、自動運転に対応し得る周辺道路の整備や、今後検討していく新たな駅舎の機能やデザインなど、沼津の魅力に市内外の注目を集めることが、さらなる投資を呼び込み、観光・移住のきっかけにつながると考える。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

沼津駅周辺総合整備事業が進みつつあり、民間との連携で都市部の魅力向上が大いに期待できる。さらに気候や景観の優位性と主要産業である農林水産業を活用し、首都圏に向けたグリーンツーリズム促進、ワーケーション人材が郊外での生活に支障を来さないデジタル化を推進し、都市と郊外の二枚看板を活かすプロモーション戦略が極めて重要。PR 不足を打破し移住定住を促進しポジティブ要素で人口減少の国予測を上回りたい。